

## 会議・打合せ記録

会議録	第2回豊田市公共交通会議
次 第	(1) 開会 (2) 議事 規約変更案 豊田市福祉及び過疎地有償運送運営協議会設置要綱案 豊田市における福祉及び過疎地有償運送 (3) その他 第3回 豊田市公共交通会議の開催日程について (4) 閉会
日 時	平成17年10月12日(水) 10:00 ~
場 所	豊田市役所 南51会議室(南庁舎5階)
出席者	<b>【委員】</b> 荻野 弘(豊田工業高等専門学校) 藪押 光市(豊田商工会議所) 水野 清(豊田市区長会) 越村 文男(豊田市老人クラブ連合会) 新田 都子(豊田市消費者グループ連絡会) 安藤 寿昭(豊田市PTA連絡協議会) 木本 光宣(福祉有償運送利用者代表) 松井智恵子( " ) 佐藤 健次( " ) 平岩 博(豊田市社会福祉協議会) 本田 吉広(名古屋鉄道株式会社) 梶原雅一郎 代理:寺澤 秀樹(愛知環状鉄道株式会社) 鈴木 和洋(名鉄バス株式会社) 岸本 康典(愛知県タクシー協会豊田支部) 加藤 水竹(交通機関運転者代表) 田中 昇(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) 山田 勇( " ) 福本 充 代理:毛利 勇(国土交通省中部地方整備局) 水谷 哲士 代理:小野 泉(愛知県) 加藤 達朗(豊田加茂建設事務所) 小向 智晶(豊田加茂建設事務所足助支所) 下尾 強(豊田警察署) 水野 勝(足助警察署) 岡田 勇夫(豊田市) 佐藤八十朗(豊田市) <b>【事務局】</b> 豊田市 福祉保健部高齢福祉課、障害福祉課、都市整備部交通政策課  : 臨時委員
資 料	次第、配席図 豊田市公共交通会議 規約(改正案) 豊田市福祉及び過疎地有償運送運営協議会設置要綱(案) 豊田市公共交通会議(第2回 会議資料) 参考資料1、2、3

【議事概要】

- (委員) 豊田市公共交通会議規約(改正案)の第4条第2項には、福祉有償運送に係る協議の際の臨時委員について規定されているが、過疎地については記載されていないのはなぜか。
- (事務局) 過疎地有償運送については、現在策定作業中の豊田市公共交通基本計画の中で検討していく。
- (委員) ガイドラインにおける運転者の要件の中で、2種免許を原則としながらもそれによりがたい場合は、一定の条件の下で1種免許でも可とある。「それによりがたい場合」とはどのような場合か。
- (事務局) 福祉有償運送の必要性が認められた後に、運営協議会場で協議していく。
- (委員) 公共交通機関に対する市の助成施策は今後どうなるのか。
- (事務局) 豊田市公共交通会議の中で、新市の公共交通ネットワークと併せて議論していく。
- (委員) 「高齢者等の移動ニーズ・実態に関するアンケート調査」について、比較的軽度の人しか答えられていないなど、回答者にばらつきがないか心配している。また、合併により市域が拡大しているため、障害者等の人数は増えている。
- (事務局) 今回の資料は旧豊田市のデータで推計値を作成しているが、今後最新のデータが揃い次第、推計値の見直しを定期的にかけていく。また、アンケート回答者1級21%、2級16%と重度の方にも回答をいただいている。
- (委員) 視覚障害者はアンケート調査表の記入が困難である。今後実施する調査は、点字等でも実施していただきたい。
- (事務局) 今年度実施している調査では、点字のアンケートを使用している。
- (委員) 現況の福祉車両・セダン型車両での輸送可能件数の推計の中に、ボランティアによる輸送はどのくらい含まれているのか。
- (事務局) この推計は道路運送法の許可取得車両での推計であり、ボランティア輸送の車両は含まれていない。事務局としては、あくまでも許可取得事業者による輸送を基本とし、車両数の不足分への短期的な対応と、前後のケアが必要な輸送手段の確保という点で、NPO法人等による福祉有償運送を依頼する必要があると考えている。
- (委員) 福祉有償運送実施団体の会員数の合計は約300人で、市が推計した移動制約者数約3,000人とかけ離れているが、その状況は。
- (事務局) 福祉有償運送実施団体の状況は、事務局の把握できた団体をまとめたもので、他にも実施している団体はあると考えている。人数の違いは、移動制約者が他の交通手段を利用していたり、福祉有償運送実施団体自体を知らないなど様々な要因が考えられる。
- (委員) 福祉有償運送実施団体の状況をまとめた表で、車両数が空欄の団体はなぜか。
- (事務局) 移送サービスにボランティアのマイカーを用いていて、車両数や輸送件数が実績として判明しない団体もあった。
- (委員) 今後のスケジュールは。
- (事務局) 福祉有償運送の必要性が認められた場合、第2回の協議会を11月下旬頃、第3回を新年の早い時期で実施する。
- (委員) 現在、豊田市の高齢化率は低いが、今後一気に高齢化が加速する見込みである。中・長期的なビジョンも必要になる。

その他

- (事務局) 今日の会議の意見は事務局で会議録を作成し、HP等で公表する。これに対して市民の皆様からも、メールや書面等でご意見をいただき、また、委員の皆様も後ほど気づいた点などをご連絡して欲しい。これらの意見を10月中に集約し、豊田市としての必要性を判断する。

【ご意見・お問合せ先】

〒471-8501 豊田市西町3-60  
豊田市都市整備部交通政策課 公共交通計画担当 石川・伊藤  
電話 0565-34-6603  
FAX 0565-33-2433  
E-mail koutsu@city.toyota.aichi.jp